

東京都中小企業振興ビジョンの基本的な考え方

- 雇用や経済を支え、地域に活力をもたらす都内中小企業を取り巻く経営環境は変化を続けており、経済のグローバル化やICT技術等の進展などにより産業構造が大きな転換点を迎えるとともに、人口減少など、社会経済の基盤に影響を及ぼすような、これまでにない状況が生じることが予想されています。
- 中小企業がこうした時代の変化に的確に対応し、将来にわたり東京の持続的な成長の担い手として輝き続けるため、この度、東京都では、中小企業振興を総合的かつ計画的に進めるためのビジョンを作成することとしました。
- 効果的な中小企業支援を実施していくためには、東京の産業の現状を正確に把握するとともに、今後想定される大きな変化とそれに伴う影響を見定めることが必要です。そこでビジョンの第1章では、都内産業の現状及び中小企業を取り巻く環境変化とそれに伴う社会経済の動きを分析しています。
- 第1章の分析を踏まえ、第2章では「目指すべき姿」と「達成目標」を掲げるとともに、その実現に向けた5つの戦略を設定しました。さらに、5つの戦略ごとに、全部で23の「施策の方向性」を取りまとめ、中小企業振興に向けた施策体系を示しました。
- そして施策体系に基づいた様々な支援策を実施するにあたり、隘路となる課題を「現在の課題」として整理するとともに、目指すべき姿や達成目標を実現するための取組を「施策の方向性」として示し、具体性のある「当面の施策展開」も明らかにしました。
- それに加え、様々な施策をより効果的に展開していくため、施策のPDCAの徹底や中小企業を支援する機関の強化、事業を活用する際の手続き面等における中小企業の利便性向上などに係る方策についても取りまとめました。
- 本ビジョンは、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催後の先の未来を見据え、これから概ね10年程度の期間を対象とします。中長期的な視点と直面する課題の解決に向けたサポートの考え方の両面からビジョンを作り上げています。